

バラの省エネ加温栽培技術

バラは冬季18℃程度の高温で栽培するため、原油価格高騰の影響を強く受けています。そこで、後夜半の暖房温度を下げ(12℃)、培地加温(21℃)を行う方法で、収量品質を落とさず節油が可能になることを明らかにしました。今後、ヒートポンプも併せ一層の燃油削減を検討します。(園芸研究部)



栽培槽に設置した培地加温用発熱体



省エネ加温栽培での開花状況品種「DFA14」

デンドロビウム・フォーミディブルの優良系統育成

愛知県で多く生産されるデンドロビウム・フォーミディブルは、春～夏咲きで清涼感のある白い花が特徴です。農業総合試験場では、母の日に安定的に出荷でき、花が大きく形が良い「DFA14」と、5月開花で花付きが良くボリュームのある「DFA25」を育成しました。これらの普及に向けて、特性及び市場性を検定しています。(園芸研究部)



「DFA14」(左)
「DFA25」(右)

パン用小麦の新系統「東海104号」

「農林61号」や「イワイノダイチ」よりグルテンが強く、パン作りに向く新しい硬質小麦系統「東海104号」を育成しました。「東海104号」は生地がややクリーム色がかかり、よく膨らんだおいしいパンができます。栽培面では稈が強く穂発芽しにくいことが特長です。本年秋から現地での適応性試験を開始します。(作物研究部)



「東海104号」 「農林61号」

小麦の子実

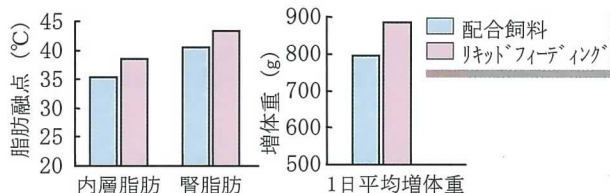


「春よ恋」北海道産 「1CW」カナダ産 「東海104号」

試作のパン

リキッドフィーディングによる良質豚肉生産の検討

飼料が高騰する中、高水分の食品残さをそのまま利用できるリキッドフィーディング(液状飼料給与)が注目されています。試験的に牛乳と配合飼料を混合した液状飼料を給与したところ、良質豚肉が生産できました。資源の有効活用、低コストの豚肉生産を目指して更に研究を進めます。(畜産研究部)



リキッドフィーディングが豚肉の品質・増体重に及ぼす効果

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1
TEL 0561-62-0085 内線322 (企画普及部)
FAX 0561-63-0815
<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>